

## タブレット利用の現状と今後の方向性について

子どもたちにタブレットが配付され、1年以上が経過しました。タブレットを様々な場面で活用することで、子どもたちの思考力や表現力を鍛え、より充実した学習につながることが分かってきました。

しかし、その一方で、課題もあります。課題を通して、タブレットとどのように向き合っていくのか自分を見つめ直し、更なる成長へつなげてほしいと考えています。

子どもたち一人一人が、ICT 機器のよりよい使い手になるための一助としていただくため、現状と今後の方向性をお伝えします。

### 1 タブレットの利活用の様子（児童の様子から）

- ・動画による学習（体育，理科，社会等）
- ・音声入力による言葉集め
- ・自分の興味に沿った調べ学習
- ・ドリル等での補充学習
- ・写真による記録（理科，生活科，図画工作科等）
- ・まとめる方法の広がり（ドキュメント等の利用）
- ・意見交流の場（ジャムボードの利用）
- ・音楽ソフトによる作曲活動

### 2 タブレットを学校での学習に用いることの効果

- ・情報を素早く正確に共有することができる。  
(理科や社会科などの図・画像・動画の共有，児童の考えなど，)
- ・様々な考えに触れることができ，学びが深まる。  
(発言しづらい児童の考えも紹介することができ，物事を様々な角度から考えることができる)
- ・今までは行うことが難しかった学習も，タブレットを活用することで可能になる。  
(児童同士の意見の交流を素早く行うことができる・・・など，)

※この他にも様々な効果が考えられます。

### 3 課題と考えられること（児童の様子から）

- ・パスワードの管理
- ・ネットですぐ調べる。(調べる選択肢がせばまる。)
- ・引用で済ませてしまう。(コピー&ペースト)
- ・授業の内容とは関係ない場面での利用

### 4 児童自身が気をつけていること（児童の声）

- ・時間を守ること
- ・物の管理（大切に使うこと）
- ・健康面（目を休めること）
- ・学習に必要なかどうか
- ・使う目的
- ・犯罪に巻き込まれないように
- ・ネットいじめの問題
- ・見通しをもって使うこと（充電の時期）

## 5 今後の取組・方向性

「デジタルシティズンシップ」の考え方を基本とし、子どもたちと話し合いながらよりよい活用方法について考えていきます。

### 【デジタルシティズンシップ教育のポイント】

子どもたちが、端末をポジティブに活用しながら、一人一人が ICT の良き使い手になれるよう、行動の善悪やルールを考え判断することを大切にします。

大人が決めた「きまり」を子どもたちに押しつけ守らせることでは、子どもたちの主体性や自律心は育ちにくく、さらに、ICT を活用した子どもたちの活動は広がっていきません。

### 【タブレットを利用するとき一緒に考えていきたいこと】

①自分を大切にしていますか？

(使っている目的、使っている場所、使っている時間、健康への配慮など)

②周りの人を大切にしていますか？

(使っている目的、使っている場所、使っている時間など)

③物を大切にしていますか？

(貸し出されている端末の使い方、家から持ってきているイヤホンなどの使い方など)

### 【これだけは絶対ダメ！！】

次のことは、法律などで禁止されています。「子どもだから・・・」といって許されることはありません！

①本人の許可なく他人の個人情報をネット上に投稿する。

【プライバシーの侵害】

②他人のアカウントを利用する。【不正アクセス禁止法】

③誹謗中傷をする。【刑法 230 条 名誉棄損】

※誹謗中傷とは「悪口、相手を傷つけることなど」です。

④楽曲や動画、画像などを著作者の許可なく、ネット上に投稿する。

【著作権の侵害】

「タブレットを利用するとき一緒に考えていきたいこと」と「これだけは絶対ダメ！！」ということを考える基本として、今後もデジタルシティズンシップ教育を進めていきます。

また、子どもたちの様子についても、学校通信や学年通信で随時お知らせしていきます。